

第61回住吉大社全国弓道大会

5月1日第61回住吉大社全国弓道大会が住吉大社特設射場に於いて開催され参加者477名による熱戦が繰り広げられました。



開会に先立ち小笠原流三十一世宗家、小笠原清忠先生による「墓目」の奉射が、奈良時代の「朝服」を着装して行われました。今年、範士九段 吉本清信先生・範士八段 林文夫先生のお二方による特別奉射が行われました。

競技の成績結果は次の通り。

団体

学生の部

【女子】

神島高(楠あゆみ・谷口亜由美・坂本望)
神島高(西野佳苗・芝本真喜子・山本静香)
日高高校(濱中香里・西 千尋・中尾久美子)

【男子】

天理大(竹森健吾・石橋正大・中原祥貴)
甲南大(帆先 浩・大塚信博・中村厳貴)
同志社大(松村孝訓・廣田一貴・西島雅登)

女子の部

徳島県(曾根恭子・横瀬智美・竹本佐知子)
兵庫県(立花靖子・藤井由涼菜・藤井 泉)
愛媛県(北風磨理・原田喜美子・橋本早苗)

男子の部

山口県(廣實佳祐・高橋 奨・町屋大輔)
長野県(市川隆光・根本充康・亀岡英司)
岐阜県(安田浩祐企・志賀裕之・彦坂健人)

個人

学生女子の部

坂本 望(神島高) 西野佳苗(神島高)
楠あゆみ(神島高) 西 千尋(日高高)
春木かなえ(甲南大) 小春美紅(甲南大)

学生男子の部

石橋雅大(天理大) 西上達登(日高高)
佃 恭平(神島高) 山本直樹(南部高)
竹森健吾(天理大) 松原正篤(大手前大)
廣田一貴(同志社大) 永治拓也(信州大)
帆先 浩(甲南大) 清水北登(信州大)

一般女子の部

橋本早苗(愛媛県) 竹本佐知子(徳島県)
横瀬智美(徳島県) 小松正美(大阪府)
藤井由涼菜(兵庫県) 赤澤和子(岡山県)
西田ゆり(奈良県) 北風磨理(愛媛県)
白井礼子(奈良県) 片山正美(静岡県)

一般男子の部



個人優勝 前田仁治

鈴木泰仁(徳島県)

前田仁治(大阪府・八尾)
吉田章朗(岡山県)
町屋大輔(山口)
畝本孝志(東京都)
安田浩祐企(岐阜県)
根本充康(長野県)
前角 博(奈良県)
飯田貞一(和歌山県)
出田一男(大阪府)

大阪府連春季例会

5月13日万博公園記念弓道場に於いて大阪府連春季例会並びに全日本勤労者大会・都市間交流スポーツ大会選手壮行会が開催されました。

参加者120名。競技結果は次の通りでした。

参段以下の部

男子 馬淵信幸(岸和田) 岡野純聖(豊中)
島田揚介(万博)

女子 平井菜菜子(高槻) 渡会綾子(万博)

四・五段の部

男子 熊野達男(朝日) 福島孝治(八尾)
塩江英俊(加支多)

女子 上野満里子(加支多) 辻本公子(茨木)
服部和子(堺) 林 直子(万博)

称号者の部

男子 下田隆司(朝日) 二宮 一(高槻)
北村大星(豊中) 水間満郎(加支多)

女子 及川悦子(高津) 山田直美(高津)
山下幸子(高槻) 木下英子(茨木)

団体の部

豊中市弓道協会 岸和田弓友会
加支多八幡弓友会



壮行射礼

全日本弓道選手権選手一次選考会

5月27日吹田市立武道館弓道場に於いて全日本弓道選手権大会出場選手の一次選考会が開催されました。一次選考の結果は次の通りでした。選考された選手の皆さんは7月1日の決定選考会に出場します。

男子

井上淳史(堺)・大楽真健(万博)・下田隆司(朝日)・森 幸夫(高槻)・山中敬雄(豊中)・梶川和男(朝日)・北村大星(豊中)・船津卓三(茨木)・野中秀治(万博)・蔵屋文彦(堺)・山下博美(岸和田)・渡土定次(岸和田)

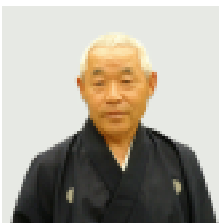
女子

北川浩子(豊中)・小松正美(朝日)・小西充子(万博)・松本利津子(高槻)・篠田淳美(堺)・山田直美(高津)・横沼由美子(万博)・湯川久子(豊中)



5月2日～6日まで第63回全日本弓道大会が開催されました。大会結果は次の通りでした。

演武結果 錬士の部



二位入賞

五段 吉田丈夫(交野)

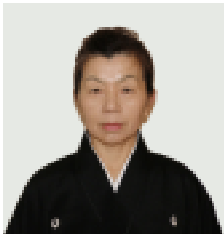


五位入賞

六段 小林師子(高津)

審査・昇格者

教士



因藤常子(万博)
5月4日(京都)

錬士



内田京子(万博)
5月6日(京都)

昇格おめでとうございます。
益々のご活躍をお祈り申し上げます。

大阪府弓道連盟の歩み



第三代府連会長
教士七段 木下長作
昭和30年12月～
昭和36年11月

4月号でご紹介しました全弓連が設立後2年で解散し、直ぐに又設立されたことが奇異に感じられその辺りの資料を探してみました。凡そ次のような事情があったようです。

弓道は元日本武徳会の弓道部門として終戦に至るまで武道として発展しましたが、終戦と同時にGHQによって武徳会は解散させられました。しかしながら地区的には新しい親睦団体として各地区に弓道団体が出来てきました。昭和22年には北海道、東北、東部、中部、近畿、中国、九州等の地域的連合が既に創立されており、この横の連絡として「全日本弓道連盟・会長宇野要三郎範士」が4月に誕生しました。しかし、機構上の諸問題を抱えていた「全日本弓道連盟」は昭和23年12月僅か2年足らずの期間を経て解散。

翌24年に東京で会議が持たれ、近畿からは三原平一郎(京都)・小林藤左工門(兵庫)・上野伝三郎(大阪)が召集され、同年4月3日「全日本弓道連盟・会長樋口 実」が設立され、全国を東部・中部・西部の三地区に分け、GHQ及び文部省の公認団体として承認され、今日の礎を築いたのです。昭和25年5月「第1回全国弓道大会」(現在の京都大会)が開催されました。大変珍しい写真です。アンダーシャツに靴下の人、



黒足袋の人、当時の生活環境が良く判ると思います。

四位 鈴木伊兵衛(東京)
優勝 小林藤左工門(兵庫)
三位 増沢明二郎(京都)
二位 森川勝(大阪)

(つづく)